



# 山陽スピリット ニュース



2016(平成28)年 11月 21日

学校法人 山陽学園

広報・山陽スピリット推進室 発行

## 「日めくり」ブーム 到来?!



店頭でカレンダーが並ぶ季節になりました。皆さんは来年のカレンダーや手帳をもう手に入れましたか。先日、お店をのぞくと「日めくり」カレンダーのコーナーが出来ていました。日めくりは毎日めくるといふ懐かしいスタイルが新鮮だと再び注目を集めています。日めくりカレンダーには年月日だけでなく、生活に役立つちょっとした知恵が書かれているのも魅力です。ことわざや格言はもちろん英会話フレーズや四字熟語など勉強に役立つもの、さらには著名人の言葉を掲載した面白い日めくりも販売されていました。

山陽学園にもオリジナルの「日めくり」がありますね。中学・高校では毎朝唱えています。「さっさせっせと・・・」「夜の眠りに・・・」と始めの部分を聞いただけで、続きが分かるようになるほど自然と言葉を覚えてしまいます。この記憶は卒業してから社会で様々な経験をした時、言葉の意味を実感することも多いのです。今回は山陽学園オリジナルの日めくりの歴史をたどってみましょう。

### 日めくり「日々の思い出」

日めくりの表紙には「上代淑先生遺訓 日々のおしえ」とタイトルがついています。上代淑先生は山陽学園の教育の礎を築いた人物です。1889(明治22)年に着任、明治、大正、昭和

を山陽学園と共に生き、この世を去る1959(昭和34)年まで51年間校長を務めました。

戦災で校舎がすべて焼失した時、復興資金を集めるため上代淑先生が考え出したのが日めくりでした。自ら選んだ言葉を美術教師であった吉田豊先生が文字を担当し、日めくり式カレンダー「日々の思い出」として1954(昭和29)年に1部100円で発行しました。現在では「日々のおしえ」というタイトルですが、はじめは「日々の思い出」という名前だったのです。

「教え」という言葉には、教訓や戒めという意味合いが含まれますが、

「思い出」は過去に自分が経験した事柄を思い出すということです。上代淑先生は、過ちを犯さないように教えてやろうという気持ちで日めくりを綴ったわけではなく、過去を思い出しながら言葉を選んだということになります。上代淑先生が戦災を受けたのは74歳の時、幼い頃からよく知る若者が戦場

へ送られるのも日常でしたでしょうし、何十年も苦勞を重ねて立派になった校舎が一瞬で火に包まれ、灰になってしまうのを地蔵川に浸かりながら、ただ見ているしかなかったといえます。いつ学校が無くなり、いつ自分の命が尽きるかという過酷な状況で、少女たちと共に学んだ懐かしい日々を大切にしていたことでしょう。そうした平和な日々を思い出しながら、日めくりの言葉を選んだのかもしれない。



最初の日めくり「日々の思い出」(1)

## 「お守り帳」から日めくりへ

日めくり「日々の思い出」を手にした同窓生もまた苦しい時代を生きていました。自分の息子を戦地に送り出し、大切な人を失い、「誰もが生きることには精一杯で他の人に親切にする気持ちも、親切にされる気持ちも失いかけていた」と当時を知る同窓生は語っています。自分一人の力ではどうしようもない理不尽な生活の中で、日めくりを手に入れた同窓生は山陽学園で学んだ日々を思い出したそうです。

いつの頃からかはっきりしていませんが、生徒は上代淑先生の訓話を自分たちでノートに記録する習慣がありました。生徒たちはそのノートを「お守り帳」と呼び、今でも上代淑記念室には実物が保管されています。「毎日人の御用を出来るだけ多く致しませう」「若い間できるだけ親切をなさい。年をとると誰もさせて下さいません」と丁寧な手書きの文字は身近な生活規範や人生訓をまとめています。卒業してからも同窓生はお守り帳を大切し、何かあると小さなノートを開いたそうです。「戦災でノートは焼失しても、上代淑先生から学んだことを心の支えにした」と語る同窓生もいます。そのような同窓生にとっても日めくりは懐かしい女学生時代の思い出を呼び起こすものでした。

その後、長年に渡って日めくり「日々の思い出」は同窓生に愛されてきました。時を経て、上代皓三先生は日めくり「日々の思い出」の難しい言い回しをより親しみのある現代的な言葉にして再び発行しました。アララギ派の歌人であり、上代淑先生の養子として本当の家族のように寄り添い、その教えを直接に受けたからこそ為しえたことでした。そして完成したのが、日めくり「日々のおしえ」です。現在では英訳の付いたポストカードも登場しています。

11月29日は上代淑先生のご命日です。上代淑先生と学んだ生徒たちのことを思い起こしながら「日めくり」の言葉を声に出してみてもいかがでしょうか。

### 2016 学生が選んだ 「日々のおしえ」ランキング

大学・短大の1年生が履修する「知的生き方概論」で好きな日めくりの言葉を選んで、その理由を書いてもらいました。



#### 第1位 広い大空のように ゆたかな心を

「豊かな心をもっていれば、人に怒ることも少なくなって、自分も毎日楽しく過ごせる」「『一歩下がれば自由になる』という中国のことわざを思い出した」「狭い心では見える空も狭くなってしまふ。豊かな心をもつことで、必ず見えてくるものがある」など

#### 第2位 さわやかな挨拶 あかるい一日

「毎日挨拶することでお互いが気持ちよく過ごせる」「挨拶をすることで、今日の一日を頑張ろうと思える」「嫌なことがあってもさわやかな挨拶をされたら頑張ろう！と明るい一日が過ごせそう」など

#### 第3位 与えた親切忘れても 受けた親切大きく感謝

「自分が良いことをしたと思うのではなく、誰かに有難いと感謝する方がよっぽどいい」「自分の努力や親切が報われない経験はよくあるし、これからはあるだろうけれど、そういうことに悩まないで、感謝の気持ちを持ち続けたい」など

その他にも「人として当たり前のように、みんなが当たり前に出ていないことだと思った。31もあるようだけれど31しかない。1つ1つを心がけて、当たり前のようにしたい」という感想もありました。皆さんの好きな日めくりの言葉はなんでしょう？

